

Regular Meeting Report

5月例会報告書



SDGsにある好循環の可能性

SDGsで実現する 社会課題解決とビジネスチャンス

2015年、193カ国のもとに国連で採択された「持続可能な開発目標」SDGs。2030年までに達成すべき17の目標と、実現のための具体的なアクションとして、169のターゲットが設定されています。すでに企業の社会的責任(CSR)の指針としてされていますが、さらに進んでビジネスと掛け合わせることで、社会課題を解決しながらビジネスチャンスを広げていこうという動きが活発化しています。その実現のためにどう考え、何をすべきかを探りました。

5月22日、有楽町朝日ホールにて5月例会「SDGsは宝の地図」を開催しました。SDGビジネスの第一人者であるおふたりを招いての講演会「SDGビジネスの可能性について」。香港、フィリピン、モンゴルのJCIメンバーに参加いただいたパネルディスカッション「世界のSDGsとビジネスチャンス」。東京JCの活動報告の三部構成で、SDGsについて学び考えました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SENSE OF MISSION

業界の区別なく先端企業は取り組んでいる SDGsとビジネスチャンスのリンク

第一部では、外務省勤務を経て国連などで人道支援に携わってきたSDGパートナーズ代表の田瀬和夫氏と、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(株)でESG(環境・社会・ガバナンス)リサーチや企業との対話に従事する小野塚恵美氏に、SDGビジネスの可能性について語っていただきました。

「株を安く買って高く売ることが顧客への貢献だった金融業界も、今や地球社会にいかに関与するか、どんなインパクトを与えるかを考える時代」という小野塚氏。大きなお金の流れをコントロールできる企業だからこそできる社会貢献があると同時に、中小企業でも発想と行動次第でSDGビジネスに取り組める可能性を具体的に示してくださいました。

田瀬氏の「金融に心はありますね」の問いに、はっきりYESを表明したまともが印象的でした。



国の課題とJCIのプログラム 世界中のJCが積極的に行動している

第二部では、第66代理事長 中村豪志 先輩にコーディネーターとして進行していただき、JCIビクトリア(香港)、JCIマニラ(フィリピン)、JCIウランバートル(モンゴル)のメンバーが、各国の課題と、その解決のために特に注力するアクションを発表してくださいました。

ビクトリアでは家族の絆の再構築に取り組んでいるとのこと。マニラでは質の高い教育を広めるため、僻地や島の教育機関の意識向上や横のネットワークづくりを進めています。ウランバートルは、まずは交通事故をなくすため



のドライバーのマナー向上プロジェクトに力を入れ、事故減少の結果を出しています。

課題に取り組み社会に働きかける JCには社会的課題解決の力がある

5月例会の主管である東京JC国際政策室では、田瀬氏を講師とするSDGsの勉強会を開催しています。主に中小企業に向けて、SDGsへの理解と、本業を通じた社会貢献のあり方を探るものです。第三部ではこれまで4回行われた勉強会の報告と、戦略立案について学ぶ第5回勉強会の参加呼びかけがされました。

石川和孝理事長の「東京JCでの気づきを通し、SDGsと本業をリンクさせて互いのチャンスとしていきたい」という言葉で、例会は締めくくられました。



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人 東京青年会議所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 青年会議所会館2F

公益社団法人 東京青年会議所 事務局

TEL:03-5276-6161 FAX:03-5276-6160 <http://www.tokyo-jc.or.jp>